

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月1日

事業所名 スタジオそら喜多見

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	3		4	机・運動の活動時間をずらしての療育を実施するよう図る。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1	2	人員配置に関しては、可能な限り多くのスタッフを配置できるよう図る。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4		3	外階段が急なため、ベビーカーの引き上げ等お手伝いが必要な時にはスタッフを呼んでいただけるよう周知する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	5		2	スタッフのPDCAサイクルへの参画を促していく。
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	6		1	アンケート結果を共有し、日々の支援に反映していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		3	待合室に自己評価の結果を貼り出し、それを周知することに努める。
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		6	外部機関の評価はまだ実施していない。今後実施できるよう検討する。
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	6	1		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		1	発達年齢の高い子向けのアセスメントを今後取り入れていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		1	標準化されたアセスメントを導入し、研修を行っていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		1	スタッフ間での打合せと研修を充実させていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	6		1	季節の行事等を取り入れていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	1	個別支援が主となっているが、あおぞら療育での支援を組み合わせる工夫をしていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		4	支援前には必ず打合せを行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6		1	一日の療育終了後にはスタッフ間で打合せを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		1	日々の記録はとっており、一日の療育終了後にはスタッフ間で打合せを行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		1	定期的にモニタリングを行なっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6		1	ガイドラインに則り、療育方法を複数組み合わせ支援を行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		1	管理者がおよびチーフが参加している。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	1	3	3	学校HPや保護者の方から情報を聴き対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	2	対象児のご利用がない。(必要性があれば即対応する。)
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか		3	4	要請があれば行う。
	㉔	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか		2	5	対象児のご利用がない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		1	6	協議会などの機会で行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		6	機会がないため、他事業所等を参考に企画を立てることを検討する。
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	3	プライバシーの観点から、地元のご利用者様の状況も踏まえ今後検討していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		1	フィードバックにて都度行なっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	2	2	3	ペアレント・トレーニングについては、面談時等で一部お伝えしている。研修等の資料を待合室に掲示、ご相談のあった保護者様にお伝えしている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	6		1	契約時に行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		1	適時ご相談を伺っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	4	平成30年4月に保護者会を実施。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	㉞	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		1	会報は毎月発行している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	6		1	十分に注意している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		1	できる限りの配慮を行なっている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		6	保護者様からのニーズが少ないため、検討中である。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		1	待合室に回覧用としてマニュアルを掲示しているが、今後はより周知に努める。
非常時	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6	1		
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		

時の対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	5	1	1	身体拘束については、保護者様から同意の上、支援計画書にサインをいただいている。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	3	通常療育において、食物の提供をしていない。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			